



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ 地域コミュニティを核とした 天栄だからできる少人数教育

2021.2.19

教育委員会だより No.115



愛村心（1尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会

学校応援団（学校ボランティア）に支えられ

写真は、今年度に各校園で子どもと地域の方が一緒に活動した様子です。各学園のホームページに数多く紹介されています。

天栄村では、学校運営協議会、地域学校協働活動、ふるさと教育推進、学校応援団など、地域と学校とが協働で子どもの教育を進める取組をしています。地域の方に協力していただくだけでなく、子どもが地域に貢献するという視点も大切に、協働活動を進めていきたいと考えています。



天栄村教育ポータルサイト

検索

← QRコード

↑ 検索ボックス

上の写真は学校サイトでご覧いただけます。スマホやタブレットでご覧ください。

天栄村教育委員会には、ALT（外国語指導助手）が2名（ゲイルとジョイス）います。小学校には週1日、中学校には毎日、幼稚園には月2日を目安に計画的に配置しています。各校園ともALTを活用し、担任とALTが協力して授業をすることで英語学習の充実を図っています。配置日は、1日学校で過ごすので、英語の授業以外にも行事に参加したり、休み時間に子どもと遊んだりしています。

英語の村 ALTの計画的配置



天栄村の小・中学校では、フィリピン、セブ島のQQイングリッシュとリモート英会話学習を実施しています。現地のスタッフと子どもが1対1で英語の学習をします。初めは戸惑いや恥ずかしさもあり、消極的な姿が見られることもあります。しかし、回数を重ねるうちに慣れてきて、楽しそうに学習する姿が多く見られるようになります。担任だけではなくALTもつまづいている子どもをサポートし、学習を支えています。生の英語にどっぷり触れる天栄ならではの学習です。



英語の村 QQイングリッシュ



<<<生涯学習事業>>>

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択していけるよう、必要な学習環境を整え、村民の主体的な学習活動を支援出来るよう取り組んでいます。

○ 地域学校協働活動～家庭科「ミシンにトライ」

2月3日から17日までの間、計5回にわたり、大里小学校5年生の家庭科の授業でミシンの使った作品作りが行われました。当日は講師として小板橋幸子さん、柳沼光子さん、森ヨウ子さん、小山田みな子さんの4名がやさしく指導してくれました。児童たちは思い思いの作品を完成させました。



○ 地域学校協働活動～「人権教室」

1月19日(火)湯本中学校で全学年を、2月9日(火)には大里小学校で6年生を対象に人権教室が行われました。児童、生徒たちは人権についてや新型コロナウイルス感染症に対する誹謗中傷について村人権擁護委員の大木喜寿さん、川崎雅子さん、石井清美さんの3名からの説明を受け、児童、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。



○ 地域学校協働活動～社会科「人々のくらしの移り変わり」

2月15日(月)広戸小学校で3年生を対象に「人々のくらしの移り変わり」についての授業が行われました。当日は小針光治さんから小学生の頃と現在の生活習慣の違いなどについての話があり、斎藤澄江さんからは沖内地区に伝わる「河童のわび証文」の民話が披露されました。児童たちは興味深く聞き入っている様子でした。

